

平成 30 年度 安全研究センター報告会 プログラム
— ソースターム評価および核燃料物質の性状把握に関する基盤技術の開発 —

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全研究・防災支援部門 安全研究センター

日時：平成 30 年 11 月 8 日（木） 13:30—17:30

会場：富士ソフト アキバプラザ 6 階 セミナールーム 1

13:30 開会挨拶

理事・部門長 三浦幸俊

13:35 安全研究センターの概要

副センター長 丸山結

13:50 今年度のテーマについて

シビアアクシデント評価研究グループ 城戸健太郎

14:00 ソースターム評価の不確かさ低減に向けて①
～放射性物質の化学挙動に関する予測～

シビアアクシデント評価研究グループ 塩津弘之

14:35 ソースターム評価の不確かさ低減に向けて②
～プールスクラビングに関する研究～

熱水力安全研究グループ 孫昊旻

15:10 ポスターの紹介

15:20 コーヒーブレイク & ポスターセッション（セミナールーム 4, 5）

16:10 燃料デブリの乱雑な組成・物質分布を考慮した臨界計算法の開発

臨界安全研究グループ 渡邊友章

16:45 核燃料由来のウラン微粒子性状分析法の開発と保障措置環境試料分析への応用

保障措置分析化学研究グループ 蓬田匠

17:20 閉会挨拶

センター長 中村武彦

（司会 材料・水化学研究グループ 端邦樹）

平成 30 年度安全研究センター報告会
ポスターセッション 発表タイトル 一覧

各研究グループの研究概要及び以下に示す最近の成果について御紹介いたします。

原子炉安全研究ディビジョン

熱水力安全研究グループ

- 最近の熱水力現象に関する数値解析アクティビティ

燃料安全研究グループ

- 冷却材喪失事故時の燃料被覆管急冷破断限界の不確かさ評価

材料・構造安全研究ディビジョン

構造健全性評価研究グループ

- 内部事象を考慮した原子炉構造機器の健全性評価手法の高度化
- 外部事象を考慮した原子力施設の構造健全性評価手法の高度化

材料・水化学研究グループ

- 原子炉圧力容器の加圧熱衝撃事象に対する健全性評価に関する研究

リスク評価研究ディビジョン

シビアアクシデント評価研究グループ

- シビアアクシデント評価における不確かさの低減を目指して

放射線安全・防災研究グループ

- 原子力防災対策のための放射線リスク評価の研究
- 防災業務関係者の線量評価モデルの開発

燃料サイクル安全研究ディビジョン

サイクル安全研究グループ

- 核燃料サイクル施設における火災事故研究
ーグローブボックス火災試験の計画策定及びパネル材熱分解評価試験ー

臨界安全研究グループ

- 臨界実験装置 STACY 更新の進捗状況と実験計画

保障措置分析化学研究グループ

- 保障措置環境試料中に含まれるウラン微粒子の化学状態分析手法の開発

環境安全研究ディビジョン

廃棄物安全研究グループ

- 処分場周辺におけるシリカ系二次鉱物の生成挙動

環境影響評価研究グループ

- 外生ドリフトクリギングを利用したサイト解放検認方法の検討